

会報 No.328



キャリア・コンサルタント

2022年（令和4年）6月10日

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合
発行責任者：渡邊 健三
〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3
小川町北ビル 8F
Tel: 03-3256-4167 (代表)
直通電話：営業本部 03-6821-7544
：外国人材受入事業部
03-6826-7789
Fax: 03-3256-4168

E-mail：[事務局] jimukyoku@ccco.jp
[営業本部] eigyo@ccco.jp
URL：https://ccco.tokyo
http://ccco.jp
編集長：田中 努
編集者：山本奈美 大野長壽
中野 忠 福田秀樹

1. チャレンジ 2022

理事長 渡邊 健三

2. 就任のごあいさつ

監事 大野 美紀

3. 「私にとってのCCCK」

前常務理事 平松 靖弘

(特別寄稿第19回)

4. コロナ情報

藤田医科大学 名誉教授 船曳 孝彦

(記憶に残る西部劇 その7)

5. 「許されざる者 Unforgiven 1992」

元日立ビルエンジニアリング 常務 小泉 幾多郎

6. 事務局だより

事務局

一粒万倍

1. チャレンジ 2022

理事長 渡邊 健三

2022年5月27日（金）第27回通常総会が、組合会議室にて開催され、2021年度事業報告、2022年度事業計画およびその他議案が委任状提出を含む出席組合員全員の承認を得ました。今年は理事・監事の任期満了に伴い、理事については再任9名と新任1名、監事再任1名と新任1名、顧問2名の再任を提案し、全員承認されました。監事新任に女性1名大野美紀さんが選任されました。今まで理事会は男社会でありましたが、今後女性目線でご活躍いただけるものと期待しております。

2021年度は2020年2月から2022年3月まで、新型コロナウイルス感染者数が山あり谷ありで推移し、それに伴う対策が様々実施され同時に社会・経済に与える影響が大きく出た1年であったと思います。感染者数が2022年4月以降ようやく減少傾向に向かい、今年度はコロナからの脱却を図る年ではありますが、世界の潮流から日本のやり方は外れているため、経済再生の道のりは遠いと言わざるを得ないと思います。また、今年2月に、ロシアによる一方的なウクライナ侵攻が始まり、長期化の様相を呈しています。今後はどのような影響が世界経済、日本経済に出てくるか注視する必要があります。

2021年度CCKの状況をみますと、人の流れがほぼ完全にストップしましたので、特に海外からの人材確保、技能実習生の入国が困難となりました。他方帰国もほとんどできなかった状態でありました。そのため、実習3年あるいは5年終了後も組合員受入企業各位のご協力により引き続き雇用が継続されたため、実習生にとっても、CCKにとっても影響は小さかったと言えますが、今後、コロナが収まっていくにつれ、フライトの正常化および出入国に関する障害が取り除かれていく方向となり、今まで帰国できなかった実習生等の帰国が増加するため、影響は大きく出てくるものと想定されます。コンサルティング事業においては、売り上げを順調に伸ばしました。

CCK全体では、設定した目標に対して一部未達成の部分はありませんが、トータルで売り上げ1億円を超え、利益ベースで前年度を上回る成果を残すことができました。その結果、約80万円の当期末繰越利益を計上できる決算となりました。これは、組合員、賛助会員および関係する団体・個人の皆様のご協力・ご支援があって可能となったことと大変感謝しております。

2022年度は、新型コロナウイルスが及ぼす世界および日本経済・生活様式への影響からの脱却が本格化し、経済の正常化・成長への期待が高まっています。しかし、一方でロシアによるウクライナ侵攻による経済制裁、燃料価格の高騰、食糧危機など不確定要素が重しとなって、今までに経験したことのない状況に陥る可能性があるように感じます。

モノづくり大国日本はどこに行ったのでしょうか？メイドインジャパンを目にする機会がますます少なくなっているように感じます。日本で手にするものは、メイドインチャイナ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア等々、アジア各国製が多く、いつの間にかモノづくりを捨ててきたようにも思います。日本経済は、貿易立国です。売るものがなければ買うことができなくなるのは目に見えています。改めてモノづくりの面で世界経済をリードしていけるのか、人手不足感が高まる中、労働力確保をどのようにしていくのか、少子高齢化、エネルギー、食糧、防衛問題をからめ、コロナで浮き彫りになった工場の立地場所、世界的なサプライチェーンをどのようにしていくのか等々、問題は山積しています。

課題山積は私たちの出番が増えるということです。当組合の持つ力を存分に発揮できる環境になってきたとも言えます。官民から求められるコンサルティング力、実現力に一層磨きをかけ、新たな分野にチャレンジしていくことが今次総会で確認されました。

皆様におかれては健康管理、新型コロナウイルス対策には十分留意していただき、昨年度に引き続き当組合の事業に、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

これから新たな体制でCCKはチャレンジし続けます。
今年一年どうぞよろしくお願いいたします。

2. 就任のごあいさつ

監事 大野 美紀

この度、監事に選任されました大野美紀でございます。
さいたま市で行政書士をしております。

平成24年に行政書士事務所を開業し、同時に前理事長の榎木氏のお誘いでCCKに加入しました。早10年です。これまでCCKでは中小企業の経営に関わるさまざまな法務、財務を勉強させていただき、その経験が今の私のコンサルティング業務の基礎となっています。ここ数年は、コロナのせいもあり、事務局へはあまり姿を現しておりませんでした。私の中では「困ったときのCCK」で都度相談させて頂き、心強い存在です。

監事のお話を頂きましたときは、正直困惑しました。CCK 始まって以来、初の女性役員だそうです。

確かに私は女性ですが、ビジネスにおいては、これまであまり女性ということ意識しないで来られました。廃棄物や建設業関連の許認可を専門としておりますので、どちらかと言うとコワモテ系な顧客が多いわけですが、女性だからイヤな目にあったり、「あ〜私が男だったらビジネスがもっとうまくいくのに」と感じたことは、ほぼ皆無です。CCK においても当時新参者であったにも関わらず、「入札参加して見てはどうか」という私の提案を即採用していただきました。今、官公庁の入札業務はCCKの新たな柱として育ちつつあり、大変嬉しく思っておりますが、よく考えてみたらCCKの柔軟性と機動力に驚くばかりです。

そのようなわけで女であることをハンデと感じた経験がほとんどないので、日本は男尊女卑国の不名誉なレッテルを貼られています。少なくともビジネスにおいては決してそうじゃないと思っています。環境は整っているのに、女性自身が怖がって飛ぼうとしていないだけなのではないか、と、そう考えるようになりました。それなのに、今回の監事就任に臆している自分にふと気づき、「尻込みしてはダメだ」と意を決しお受けすることにした次第です。

先日、新宿で開催されている篠田桃紅展に行ってきました。昨年107歳で亡くなった画家ですが、それはもう大胆でかつ繊細で力強く、圧倒されました。年齢をどんなに重ねても衰えない墨への執念や新しい表現への挑戦など、生きざまがあっばれな女性です。私も桃紅のように、いくつになっても新しいことに怖がらずに挑戦する女性でありたいと思います。

このたび初の女性役員として就任するにあたり、責任の重さを痛感しておりますが、微力ながらも精一杯取り組む所存でございます。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

3. 「私にとってのCCK」

前常務理事 平松 靖弘

私はキャリア・コンサルタント協同組合（CCK）を今年3月31日付で脱退させていただきました。15年間の長きにわたり大変お世話になり、ありがとうございました。

CCKとのご縁のはじまりは東京商工会議所でした。丁度、会社を定年退職してコンサルタントをしたいと思いますところ、偶然訪れた東京商工会議所でCCKのお話をいただきました。話の内容から「君にはCCKが良いのではないか」という事で、その場ですぐに電話をしてみました。翌日、CCKを訪ね、面談をしていただき、今日に至りました。その時は15年間もお世話になるとは思ってもおりませんでした。

CCKでは当初「事務局見習い」という事で、当時のベテラン山脇氏に直接のご指導を受けながら、事務局業務習得に励みました。当時は田中事務局長、山脇氏、影山氏を中心に事務局業務を展開されていましたが、私も非力ながら日々の業務をこなし、あっという間に15年の時が流れました。

思えば、この間、いろいろ貴重な経験をさせていただき、人生の幅を広げる事が出来、とても嬉しく思っております。

ここに私に関わらせていただいた主な業務を紹介させていただきます。

- I 事務局業務
- II コーヒータイム
- III ワインテイストの集い
- IV 異業種交流会

I 事務局業務

これは、事務処理のみならず、こまごまとした雑用も含み、まるで「女房」役の様でもありました。

主な業務は

○毎朝の業務

- ① 郵便物の受取りと各メンバーへの配布
- ② FAXのチェックと配布
- ③ メールのチェック（営業、事務局宛）と関係者への転送
- ④ 電話対応

- 毎月の業務
 - ① C C K会報・・・事務局だより作成
 - ② 複合機の印刷コスト管理・・・使用実績集計と各メンバーへ請求
- 不定期の業務
 - ① C C K会員名簿の更新と名簿作成
 - ② システム管理・・・新規P C導入、P Cソフトの管理と保管
 - ③ ネットワーク管理・・・C C Kネットワーク、電話機の管理
 - ④ 備品の調達
- 各種イベントの企画・運營業務
 - ① 賀詞交歓会、総会後の懇親会、忘年会、納会
 - ② 研修の集い

II コーヒータイム

ほぼ毎日3時になると、手の空いた人達でコーヒーとお菓子を楽しむ「ほっこりタイム」。世界情勢から、その時々々の世相、あるいは「物知りさん」の知識、趣味の話など、私はこの時間がとても楽しみでした。

「たったのコーヒー1杯」ですが、「されどコーヒー1杯」とても元気の源になりました。何よりも気心の知れた人達との時間は心のオアシスでした。

III ワインテイストの集い

仕事を終え、夕方より不定期で開催。これは私の在籍の途中から始まりましたが、基本、組合員限定ではありますが、飛び入りも歓迎しております。ワインの達人大野長壽氏主導でフランスワインの楽しみ方を教えていただきました。

ワインは深みがあるフランス産に限定して行なう事にしました。ワインは良く大使館員が購入するといわれる麻布十番のスーパーマーケットで購入しました。このスーパーマーケットは1フロアーほぼワインが一杯で、その日に購入しないとなくなるほど売れておりました。私達は比較的手に入りにくい高級ワインを中心にバランスを考えて購入していました。

ワインは産地によって、道や斜面が違っても味が違うため、先生（大野氏）は黒板にフランスのワイン生産地の地図を表示し、1本ずつ説明をして、出席者全員がテイスティングしました。そして、大野氏自作のローストビーフ、影山さんの心のこもった手料理などが加わり、毎回盛況で、大成功の行事となりました。

IV 異業種交流会

異業種交流会の狙いは、コンサルタントの集団であるCCK組合の外部との交流や内部の組合員の活性化です。CCK組合員は高齢化も進んでおり、組合員は減少傾向にあります。

そこで異業種交流会の目標を「友達作り」と「組合員の増強と活性化」としました。毎回、外部から講師の方をお招きし、講演後には、講師の方、交流会参加者（組合員以外のどなたでも参加可能）と共に2時間程度、ワインとおつまみを用意して歓談を楽しんで頂きました。

参加費は1回 一人1000～3000円に抑えて実施しました。

異業種交流会 開催実績			
	開催日	テーマ	参加人数
第1回	2017.05/12	趣味を楽しむ	15
第2回	2017.06/02	乗馬とスポーツ	15
第3回	2017.07/02	趣味上達の仕方	15
第4回	2017.10/06	マイナス金利下の財産と運用裏表	9
第5回	2017.11/08	カラオケ運用裏表	11
第6回	2017.12/01	趣味を楽しみ 人生を楽しむ	11
第7回	2018.01/19	初心者のためのビットコインについて	23
第8回	2018.01/24	初心者のためのビットコインについて	15
第9回	2018.02/05	恋愛学	14
第10回	2018.03/02	元競泳日本代表が語る 目標達成へのプロセス分解	19
第11回	2018.04/11	プチお金持ち入門	13
第12回	2018.05/16	株式投資入門	10
第13回	2018.07/04	初心者のためのビットコインについて	11
第14回	2018.08/03	初めてのマインド、フルネス	10
第15回	2018.09/05	知っていますか？ 西洋占星術	27
第16回	2018.11/07	初めての出版	17
第17回	2018.12/05	色使いで幸せをつかむ	11
第18回	2019.01/16	元セレッソ大阪 山内孝雄氏	25
第19回	2019.02/06	パワーアップして最高の人生を	17
第20回	2019.03/13	水泳マスターズ世界記録保持者が成功体験を語る	17

以上、このように、ご説明してまいりましたが、お陰様でこれらの仕事はとてもし甲斐のあるものでした。特に印象に残ったのは、私にとって未経験であった「異業種交流会」です。

具体的な活動内容は

1. テーマと講師探し
 - ① テーマが偏らないようにした。
 - ② 人脈、Facebookなどを活用した。
2. 集客
 - ① メルマガ配信による案内
各開催に向けて、より関心を持ってもらうために内容を変えて2回発信した。
 - ② 各回の開催内容をCCKのHPに掲載した。
 - ③ ポスターを作成し、CCK組合事務所の1Fに掲示
3. 当日会場の開催準備
 - ① 当日の案内図作成
 - ② 当日の食料（ワイン、料理、他）の買い出し、会場準備
 - ③ 出席表と会費のお釣りの用意
 - ④ 当日の講師の方と最終下打合わせ

これらは、なかなか大変でしたが、しかしそれ以上に、日頃お会いする事の無い職業の方々の世界を少しでも知る事ができて、新鮮な経験をさせていただきました。まさに「異業種交流会の良さは違う世界を見ること」でした！

長年、事務局で面倒を見て下さった、田中顧問、影山様大変お世話になりました。

他の組合員の皆様方にも親切にいただき、本当に感謝致しております。コロナ禍の下、大野様には、毎日事務所の消毒をしていただきありがとうございます。

現在、少し感染者数も減って落ち着いてきたようではありますが、我々高齢者にとってはまだまだ警戒が必要だと思われまます。皆様がコロナに負けず、元気で活躍されることを願っております。

最後になりますが、キャリア・コンサルタント協同組合の益々のご発展を祈念致します。

長い間、本当にお世話になりました。

以 上

(特別寄稿第 19 回)

4. コロナ情報

藤田医科大学 名誉教授 船曳 孝彦

東海道から富士山を見ると右の稜線に小さな小山が見え、寶永山と呼ばれています。新型コロナ感染症新規感染者数のグラフ（本当は週単位で纏めたグラフの方が鋭い角度となりもっとはっきりする）で、第 6 波の大きい山の右側に寶永山によく似た小山が見えることは前報でも指摘しましたが、最近ではこの小山が二つ見られます。山が大きくないので第 7 波、第 8 波とは言い難いのですが、ここでは仮称として用いましょう。仮称第 7 波はどうやら乗り越えましたが、その後の仮称第 8 は本物の第 8 波になりかねません。

私の畏友黒木登志夫先生の【変異ウイルスとの闘い—コロナ治療とワクチン】が数日前に中公新書として出版されました。早速読んでみましたが、大変分かりやすく書かれており読み易いので、是非お手にとってご覧ください。更に COVID-19 TK-File(39)も届きましたので、このコロナ情報 36 も、この 2 資料を全面的に参考にしています。

DNA 分析から変異ウイルス株で見ると、オミクロン株からの変異亜株で、第 6 波、仮称第 7 波は BA. 1, BA. 2 であったが、WHO は最近の増加が BA. 4, BA. 5 らしいといっていますが、日本の第 8 波は日本独自の亜株ではないかともいわれています。これらの亜株はワクチンが効きにくいのでは、とも言われています。感染力はウイルス史上麻疹や水疱瘡に次ぎ、3 番目の強い感染力を持っており、幸いに重症化、致死率はデルタ株より低いのですが、高齢者では致死率 3.5% と高く、私ども高齢者には恐ろしいことです。

ウイルスの中でもコロナウイルスは変異し易く、これまでの第 2 波、第 3 波、第 5 波は日本で独自に変異した亜株だったようです。日本では厚労省がデータを囲い込み、大学や研究所に公開していないため分析が遅れてしまいます。今が大事な時であり、何時でも何処でも PCR 検査を積極的に行い、陽性者に関しては全例 DNA 分析を行うべきだと主張してきました。

抗体についても、アメリカでは過半数（小児では 80%）に抗体が見られたと報告されていますが、日本ではこのようなビッグデータが存在しません。

政府はこうした医学的、科学的な面は一切無視して、マスクなしの条件だの、海外観光客受け入れだのと、経済活性化のみ重視して前のめりです。今後どうなるのでしょうか。

黒木氏はチャールルから始まった “終わりの始まり” を使って今後の経過予想シナリオを

- ・①終わりの始まり
- ・②始まりの終わり
- ・③終わりなき始まり

の 3 シナリオとして考えています。

この場合でもこの後小さな波はあるかもしれませんが、一応納まって行く傾向で、インフルエンザ並みとなる可能性があります。すでにコロナ情報でも書きましたが、SARS、スペイン風邪、デルタ株の第5波のように終息に向かう可能性に期待が持てます。いけるのではないかと希望的観測をしております。この場合、今後も波は繰り返すことにはなりますが、致死率は高くなることはないでしょう。第3波の5%から第6波は0.13%に下がっています。可能性は大きくないと思われませんが、高い致死率を持った波が繰り返すことにはなります。シナリオ①が本命だとは思いますが、では何もしなくてよいのでしょうか。

この波の中で感染することの無いようにマスク・換気・大声会話・雑踏回避・近接回避などの**基本**には十分注意しましょう。

大切なのは**ワクチン**です。時間が経って中和抗体が下がっても、ウィルスが入ってきたとなればメモリー細胞が働きキラー細胞により免疫活動が再び活発化します。ワクチンは基本的には2回接種ですが、補助的（ブースター）効果が証明されていますから3回目接種が常識化しています。これによりデルタ株で90%、オミクロン株で65%に回復します。インフルエンザワクチンより優秀です。

さらなるブースター効果として4回目の接種が今始まろうとしています。まだ接種券は来ていませんが、私は受ける日を心待ちにしております。皆さんも受けてください。この次お会いする時は4回終了者同士でノーマスクに戻って会食しましょう。

それなのに何ということでしょう。未だに3回接種者は60%のラインを超えていません。オミクロン株で感染率の高い弱年齢層（12～19歳）のワクチン3回接種は21%に過ぎません。小児の接種率に至っては1割台です。

副反応でワクチン反対を煽る報道、街宣車、全く熱心さが見られない政策によるものです。こんなことでよいのでしょうか。副反応とは本来注射を打つことによる痛み、発赤、腫れ、発熱、倦怠感などであり、いわば必然的ともいえるもので、接種を忌避する理由になりません。副反応が出ればそれに対応するよう手配されていますし、2回目は副反応が強くなる人ならない人半々ですが、3回目は多くの方が軽くなっています。

副反応に混同されているのが**有害事象**と呼ばれる病態で、アナフィラキシーショック（1）、血栓症（2）、心筋炎（3）、抗体依存性感染増強（4）、不明急死（5）です。（1）は接種現場でもこれには最も注意しており100万回に3人と稀で、死亡者はありません。（2）は100万回に1人と更に稀で、日本ではゼロです。（3）は若い人に見られ、CDCによれば100万回に12.6人とされていますが、時に高齢者に起こることもあります。（4）は新ワクチン誕生の時最も心配される病態ですが、新型コロナワクチンではゼロでした。（5）は高齢の循環器疾患患者で日本では17例とされていますが、元々の循環器病と重症度をしっかり検討せねばなりません。

こうしてみるとワクチンに反対する人の根拠が薄れてゆきます。心理的大きな要因は子宮頸がんに対する神経系の有害事象の報道で、集団訴訟となったことでしょう。メディアの力は大きく、さらに政府は薬害を否定する一方で、ワクチン接種推奨を中止してしまったのです。道理が通りません。接種率は80%から0.1%になってしまいました。コロナ禍を受けて推奨しかけていますが、日本人の心の中に反ワクチン感情を根付けてしまいましたので、**ワクチン信頼度**はなんと世界149か国中149位と最下位となってしまいました。

予防注射をするかしないかは個人の自由でしょうか。憲法でも生命権と公共の福祉は自由を制限するものとしており、公衆衛生の保全は公共の福祉に含まれると黒木氏も指摘しています。なによりも厚労省は大量のワクチンを捨ててしまうといふとんでもない失敗を反省し、ワクチン接種に真剣になってもらわなければなりません。

最後に私の希望の見解も含めて申し上げます。

さあ、皆さん 山行、ハイキング、スキー（今は無理でしょうが）、あるいはゴルフ、釣りなどは上記の注意をした上で、解禁として良いと思います。会食も構わないと思います。店側としては当分の間アクリル板が立つことにはなるでしょうが、そこは我慢し大声を出すことも控えましょう。

コロナ禍で日本の社会からコミュニケーションが希薄化してきたと思います。WEB会議など、コロナ社会で新しく開けたメリットもありますが、ノスタルジアでなくプレコロナの良さをもう一度思い直してみましよう。

(2022年5月28日記)

(記憶に残る西部劇 その7)

5. 「許されざる者 Unforgiven 1992」

元日立ビルエンジニアリング常務 小泉 幾多郎

西部劇のアカデミー賞作品賞の受賞は、1931年「シマロン」以降、1990「ダンス・ウィズ・ウルブス」まで約60年間なかったが、1992年に「許されざる者」が受賞し、3本目となった。先月アカデミー賞に触れたので、その受賞作の感想を述べていきたい。

まずは「許されざる者」から。製作・監督・主演の一人三役のクリント・イーストウッドは、人気TVドラマ「ローハイド」からマカロニウエスタンを経て、初監督の「恐怖のメロディ」から20年余16本目、西部劇としては4本目で受賞作となった。アカデミー賞9部門にノミネートされ、作品賞監督賞、助演男優賞、編集賞を獲得している。ワイオミングのビッグ・ウイスキーという町が舞台だ。

助演男優賞のジーン・ハックマンが保安官を務めるこの街は、ガンコントロールが敷かれ、銃の所持は許されない。冒頭酒場兼売春宿で牧童二人が、性器を笑われたことに腹を立て娼婦の顔等めった切り、それに対し娼婦側も保安官の裁定に納得せず、1000ドルの懸賞をかける。

まず、最初の賞金稼ぎは、鉄道会社の手先となって中国人を撃ち殺したりしたという伝説的人物、これをリチャード・ハリスが扮するが、保安官によって、その伝説等が覆され、完膚なき迄殴打される。クリント・イーストウッドは3年前に妻を亡くし、子供二人と農夫となっていたが、過去列車強盗や保安官殺しで名を馳せた伝説的アウトローだった。

貧苦のため、若者の誘いにのり、過去の仲間黒人モーガン・フリーマンを誘い、賞金は獲得するが、帰途についたフリーマンが、保安官側に捕まり、リンチの上殺害され、酒場前に晒されることに。怒ったイーストウッドは、まずは酒場と売春宿の主を非武装ながらも殺し、銃撃戦の上保安官とその一味を撃ち倒す。

以上があらすじだが、イーストウッドが意図したことは？まずは開拓者としてのアメリカ人の精神的役割を担ってきた西部劇の自助、独立、自由といった神話性の否定。リチャード・ハリスの伝説的な美談的行動の虚構性のガンファイトの暴露に示される。次に男権的な家父長制に立脚した男に都合の良い世界観の否定だ。まずは賞金稼ぎのもととなった娼婦による嘲笑。その前にイーストウッドがアウトローから真人間になったのは、妻である女性の力だとセリフでも述べている。仲間のフリーマンの妻は先住民だが、誘われて出掛ける夫に対する心配の念とまた昔の癖が始まったか、という軽蔑の眼が印象的。

また、人種差別では、過去の先住民や黒人に対するたちゆかなくなった事実への反省を含め、保安官は牧童を助けるが、黒人は鞭打ち、娼婦を蔑む差別的性格が強調された。この保安官、1992年の黒人逮捕に端を発したロス暴動発生時のロス警察本部長を念頭に置いたともいわれる。

それにしてもこの映画のひたすら暗さを強調した映像、暴力と理不尽さと恐ろしさを真正面から取り上げたと言える。とは言え、暗さは画面が見えづらいことも事実。冒頭と終焉の太陽の光に赤く照らされる子供二人との農家の佇まいだけが救い。許されざる者とは誰のこと？それから除かれるものは、子供二人は当然としても、あとは娼婦か？殺す者と殺される者はいるが、善悪の二元論的対立ではない。

許されざる者は全て死ななくてはならないはずだが、イーストウッドは殺される側にではなく殺す側に立ち、親友を殺し侮辱し、銃規制を敷いた者を殺したのだ。銃こそは個人が倫理的意志を貫徹する最後の手段となっている。善玉も悪玉もない殺し合いは、イーストウッドが演じたマカロニウエスタン「荒野の用心棒」及び現代の保安官サンフランシスコ市警の「ダーティハリー」に既に存在していた。最後妻の墓に参るに当り、亡き両監督で多大なる示唆を得たセルジオ・レオーネとドン・シーゲルにこの映画を捧ぐの字幕が出る。

(つづく)

6.事務局だより

事務局

●5月27日（金）午後3時より第27期通常総会が事務局会議室で開催されました。今回は議題も多く時間がかかりましたが、審議は順調に進み、すべての議題は承認され、新しい役員も決定され、理事会で渡辺健三氏が代表理事（理事長）に指名されました。理事長以下の役員は次の通りです。

副理事長：神力愛晴、大野長壽、常務理事（事務局長）：宮坂武彦、
理事：佐藤俊彦、岡崎充徳、荻野徹、福田秀樹、後藤聡（以上再任）
下斗米裕英（新任）、
監事：中野忠（再任）、大野美紀（新任）
顧問：栩木義彦、田中努（以上再任）

●第27期損益計算書によれば売上に相当する事業収益は、初めて一億円を突破し、純利益も80万円余となり、30周年記念事業積立金を25万円計上しました。30周年記念事業は約100万円の予算で2023年（令和5年）10月6日（金）の開催を予定しており、27期～29期に掛けて資金を充当します。

●5月の理事会で次の組合員の加入が承認されました。

芳生グラビア印刷（株） 兵庫県加西市
代表取締役：米谷奈穂子 事業目的：グラビア印刷
外国人実習生受入企業

●5月27日通常総会の終了後、午後5時からひなたガーデンで16名の参加の基、懇親会と影山和子さんの送別会及び山本奈美さんの歓迎会が行われました。影山さんには長い間、事務局をお手伝いいただき有難う御座いました。これからも賛助会員として活躍する予定です。

●6月の行事等の予定

13日（月）BCセミナー（10:00）
14日（火）運営会議（10:30）
16日（木）BCセミナー（10:00）
20日（月）BCセミナー（10:00）
21日（火）理事会（13:00）、研修の集（16:00、中野忠氏）
22日（水）営業担当者会議（10:00）
23日（木）BCセミナー（10:00）
27日（月）BCセミナー（10:00）

●7月の行事等の予定

- 4日（月）BCセミナー(10:00)
- 7日（木）BCセミナー(10:00)
- 11日（月）BCセミナー(10:00)
- 12日（火）運営会議（10：30）
- 13日（水）営業担当者会議（10：00）
- 14日（木）BCセミナー(10:00)
- 19日（火）理事会（13：00）
- 21日（木）BCセミナー(10:00)
- 25日（月）BCセミナー(10:00)
- 27日（水）営業担当者会議（10：00）
- 28日（木）BCセミナー(10:00)

一粒万倍

▼本年5月15日に沖縄の本土復帰50周年を迎えた。現在、日本の国土面積の0.6%に日本での米軍施設の7割が集中している。沖縄県は戦力を保持しないという、「日本国憲法」9条と、米軍に基地を提供する「日米安全保障条約」の基に置かれている。そこには戦後の日本国の矛盾が垣間見えている。

▼人口一億二千万人の日本の防衛力は従来型の「日米安全保障条約」の基で良いのか？ 今回のロシアによるウクライナへの侵攻を考えると米国は日本列島を不沈空母と見ていると思われる。日本海を境にロシア、中国、北朝鮮と向かい合っている日本は何時侵略が開始されるか分からない。

▼5月20日米国のバイデン大統領が韓国に続いて日本を訪問しました。日米首脳会談で台湾での紛争が起こった場合、台湾の防衛に軍事的関与をするとの考えを示した。これについて「失言」と言われているが、大統領は質問に答える際、最初に「yes」と大声で叫んだのは本音と思われる。米国の大統領府は取り消しの声明を出して居るが、これに対して「中国」は直ぐ反発をした。日本はどのような態度を取ればよいのか難しくなってきた。

編集後記：*大野美紀様就任のごあいさつありがとうございました。今後のご活躍を期待しています。*5月27日の通常総会と理事会で新しい役員が決定しました。新しい門出となることでしょう。今月号から編集委員は影山和子さんから山本奈美さんには変わりました。今後ともよろしく願います。